

## 20) 名古屋市における乳児神経芽細胞腫のVMA検査 によるマス・スクリーニング（昭和60年度）

中田 利一、瀨瀬 敬吾  
（名古屋市衛生局保健予防課）  
児玉 京子、石井 譲治  
（名古屋市衛生研究所）

### 1. 名古屋市における乳児神経芽細胞腫のVMA検査によるマス・スクリーニングの結果

名古屋市では、昭和59年4月から、市内全域（16区）において、このマス・スクリーニングが行われる事となった。昭和60年4月1日から、11月30日迄に、12,650例のマス・スクリーニング（Dip法）を行い、再検査（Dip法）は、709例について行い、精密検査（Dip法で陽性の場合、予備の濾紙に付着した尿を抽出して液体クロマトグラフでVMA、HVAを測定）は、365例について行い、再精密検査（採尿バッグで採尿して、尿中VMA、HVAを液体クロマトグラフで測定）は1例について行い、臨床診断は1例について行い、患者は1例発見した。

昭和52年1月から昭和60年11月30日迄の合計は、対象者数79,015、マス・スクリーニング実施数54,791（69.3%）、再検査は2013（実施数の3.7%）、再精密検査は31例（再検査の1.5%）、臨床診断は7例（再精密検査の22.6%）、患者は6例（臨床診断の86%）であった。

今年度に発見された患者1例について略記する。

○ K. Y.、昭和59年11月15日生、女児

一次検査（昭和60年8月6日）、Dip法VMA（卅）、再検査（8月13日）、Dip法VMA（卅）、再精密検査（8月21日）VMA 221  $\mu\text{g}/\text{mg}$ クレアチニン、HVA 132  $\mu\text{g}/\text{mg}$ クレアチニン。名古屋市立大学小児科へ入院（8月24日）。小児外科へ転科（9月1日）、手術 9月12日（生後約10カ月）。

在胎40週、生下時体重3,600 g、顎定4カ月、お座り7カ月、入院時（生後約10カ月）は無症状で発育正常範囲内（体重8.8 kg、身長70.5 cm）であった。腫瘍は左副腎部で、大きさは8.2 cm × 7 cm × 4.8 cmで、重さは240 g、リンパ節転移を認め、Stage IIで、花冠形成型の神経芽細胞腫で、全摘する事ができた。術後、化学療法継続し、昭和61年1月末現在、腫瘍は認める事ができず、化学療法を中止し、経過観察中である。

### 2. 患者尿による精度管理の実施

上記の如く、患者尿を得る事ができたので、この尿を濾紙に付着させ乾燥し、16保健所の検査室に送付し、他の検体と一緒に発色させ、患者尿の発色を経験して貰った。

**3. 尿中4-ヒドロキシ-3-メトキシマンデル酸の自動化定量法 1)**

尿中4-ヒドロキシ-3-メトキシマンデル酸の定量の自動化法について報告する。これはPisano筆の比色定量法を基にしたものである。自動化法は、1時間に30検体処理できる。回収率および再現性もよく、液クロとの相関は $\gamma = 0.99$  ( $n = 110$ ) と良い結果が得られた。

1) An automated determination of urinary 4-hydroxy-3-methoxymandelic acid.

Kyoko Kodama

Toshikazu Nakata,

Katsumi Yamanaka, and

Mitsuko Aoyama

Clinica Chimica Acta, 158(1985)

191 ~ 196.

**4. 汚紙で送られて来る乳児尿の含有する蛋白質の量をマス・スクリーニングする方法の検討**

種々基礎実験を行っている。

**5. VMA mass screening program of neuroblastoma for infants in Nagoya City, Japan.**

Kyoko Kodama,

Toshikazu Nakata

Jyoji Ishii, et al,

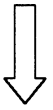
Am. J. Public Health,

75 (1985), 173 ~ 175.



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



名古屋市では、昭和 59 年 4 月から、市内全域(16 区)において、このマス・スクリーニングが行われる事となった。昭和 60 年 4 月 1 日から、11 月 30 日迄に、12,650 例のマス・スクリーニング(Dip 法)を行い、再検査(Dip 法)は、709 例について行い、精密検査(Dip 法で陽性の場合、予備の炉紙に付着した尿を抽出して液体クロマトグラフで VMA、HVA を測定)は、365 例について行い、再精密検査(採尿バッグで採尿して、尿中 VMA、HVA を液体クロマトグラフで測定)は 1 例について行い、臨床診断は 1 例について行い、患者は 1 例発見した。